

わたしとご飯

緑井小学校 六年 中森 茜月

「今日、学校で昼休けつにクラスのみんなとドッジボールしたんよ。」

「と、私が母に話していると父がボールとれるんか？」

「と、聞くので私は」

「逃げるんよ。コートの中をいっばい走るんよよ。」

すると母と姉が、

「暑いのにがんばったんじゃねー。」

「いっばい走ってお腹がすいとるよね、いっばい食べんとわい。」

こんな会話で我が家の夕食は始まります。家族五人の会話は、毎日色々で私や姉の学校のできごとやテレビ番組の事、ニコースの話、弟の一日の事など楽しい会話は止まりません。私は、家族と話しながら楽しく過ごす夕食の時間が大好きです。そして食卓には、ほっかほっかのつやつやご飯です。季節によ

つてませご飯や炊き込みご飯、ちらしずしや
太巻きずし、チキンライスやオムライスの時
もあります。季節の行事を大切に思うという
両親の気持ちを感じる事ができ早く春にな
らないかな、秋が待ち遠しいなど思っ
ています。特に、私がお気に入り
で母に食べたいと頼むのは、かきの炊き
込みご飯です。旬のかきのふっくらと
やわらかいおいしさは、本当
にたまりません。母のかきご飯は、かき
のおいしいお出汁と五センチ角の昆布と
かき、少しの酒、しょう油、塩で炊き
上げます。炊き上がる時のおいは、わく
わくします。最後にねぎと三つ葉を散らす
のは、私の役目です。いただきます。と
言って口の中に入れた時の幸せと言った
らありません。
毎日の食卓には、ご飯とお汁物、お魚
やお肉料理、そして野菜もたっぷりです。
こんなバランスのとれた食事で私達は、
いつも元気な過ごせています。私の元
気の素は、母の作

るバランスの良い食事を囲んで楽しい会話を
することだと感じています。

そんなお米は、田舎の祖父母が手間ひまを
かけて作ってくれています。手伝いに帰る父
について私も田植えから稲刈りまでの大変な
作業を見る事があります。小さい苗がぐんぐ
ん伸びて夏が来るころには、青々としてくる
と、周りの草刈りや台風の水の配、水の番、害
虫のく除などたくさんの手間ひまをかけて、
おいしいお米になる事を忘れることは、あり
ません。

私たちの食卓に無くてはならないご飯、楽
しいやおいしい、幸せをくれるご飯。

これから、私もご飯を作ることを母や祖
母から習って、母や祖母の様に楽しく幸せな
食卓を囲めるお母さんになりたいです。

そして、作る人への感謝の気持ちを持ち続
けたいと思います。